



岡山市立福田中学校

○第2学年 数学科 単元名「図形の調べ方」

単元の目標

- (1) 平面図形と数学的な推論についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- (2) 数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現することができる。
- (3) 図形の合同について、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

本時の目標（7時／全16時間）

へこみのある図形の角の求め方について、三角形に分割する方法を考えて、三角形の内角・外角の性質を使って説明したり、それぞれの解法の良さに気付いたりすることができる。

〈生徒の実態〉 数学的な表現方法のよさを意識して、解法を筋道を立てて分かりやすく説明し伝え合うことが苦手である。



できるだけ多くの解法を見つけるという課題設定をし、自分が考察した内容を友達に伝え合うことで、多様な考えを認め、よりよい考えに出会わせました。

机間指導で、個々の学習状況の把握をし、必要に応じて支援をしました。

班の人に自分の考えを伝えてみてどうだった？

この角度が何度か数字では表せないよ…



数字は無理なら…記号か！

それなら連立方程式で解ける！

今、先生に伝えたことを、班の人に伝えてごらん。



うん、それで…

えーっと、ここに補助線を引いたら三角形ができて…



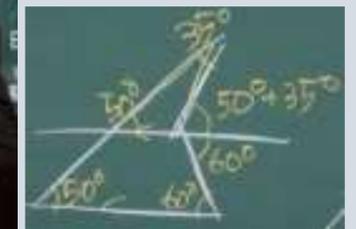
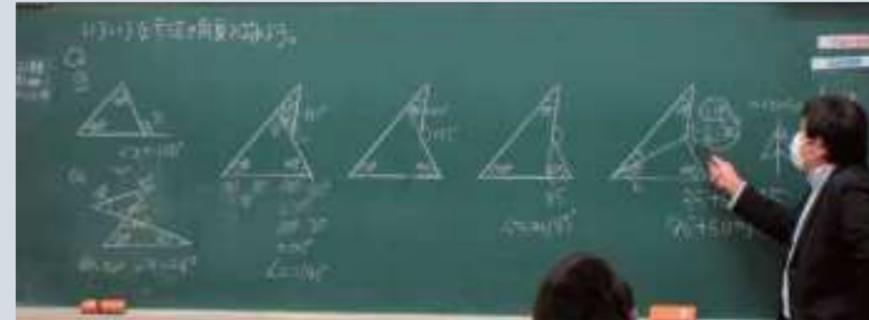
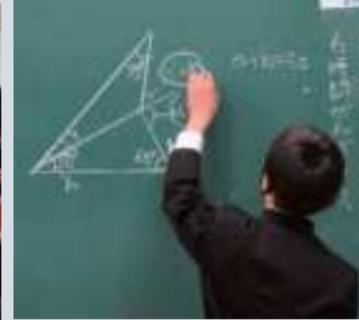
他者と伝え合う経験を通して、自分が数学的に表現した実感をもてるようにしました。

グループ学習後、生徒が自分の考えを皆に伝える場面で、生徒を次々と指名し、筋道を立てて説明することができるよう繰り返し指導しました。生徒は三角形の性質をもとにして角度を求める過程を口頭で証明する経験をし、また解法は多様であることを学びました。

生徒が自分の数学的な表現を更により良いものにできるよう、説明の過程で用いた三角形の性質や関係性を、生徒とやり取りしながら整理しました。また、後の学習に見通しと期待をもたせる視点を与えました。



今の説明をもっと簡単にまとめることはできるかな。

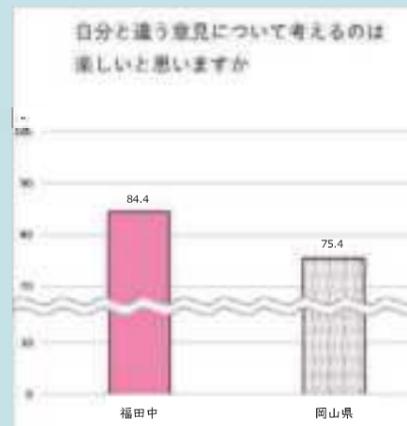


福田中学校の成果

目指す子供像の達成についての意識調査

「全国学力・学習状況調査」の質問項目「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか」において、肯定的回答が84.4%であり、岡山県の平均と比べて9ポイント高い結果でした。

これは、表現力の育成のために取り入れた話し合う活動等をすべての教科・領域で取り組んでいる成果であると考えます。

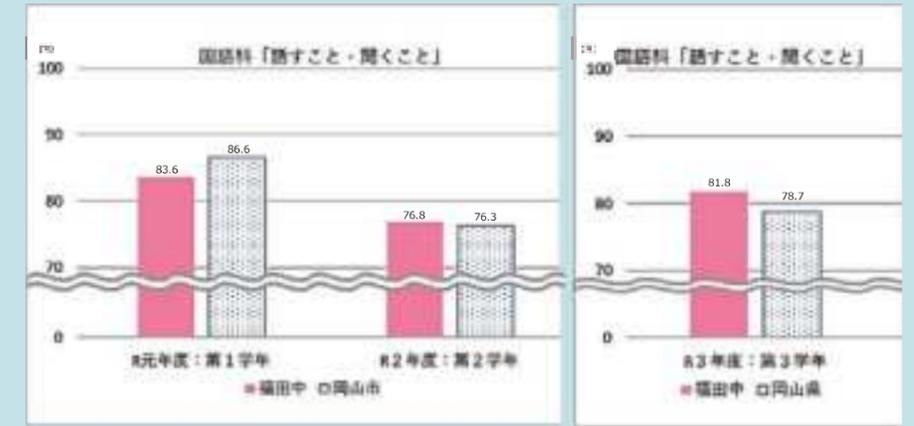


令和3年度「全国学力・学習状況調査」から

また、国語科における「話すこと・聞くこと」において、学年が上がるにつれて、市の平均正答率を上回るようになりました。

令和元年度には、「岡山市学力アセス」において校内の平均正答率が83.6%であり、岡山市の平均と比べて3.0ポイント低かった結果が、令和2年度には岡山市の平均と比べて0.5ポイント高い結果になりました。令和3年度の「全国学力・学習状況調査」では81.8%であり、岡山県の平均と比べて3.1ポイント高い結果になりました。

国語科「話すこと・聞くこと」領域の正答率



令和元・2年度「岡山市学力アセス」から

令和3年度「全国学力・学習状況調査」から

# 教員とカリキュラム・マネジメント



岡山市立芳田小学校

単元構想（全5時間）と教科等横断的な視点のつながり

〈単元に入る前の児童の実態〉  
話を聞いてメモをとるが、聞いたことを全て書こうとして、結局何を聞いたか分からないことがある。

子供の実態を踏まえた指導計画の作成



メモをとるだけで必死！！



「自分の聞きたいことをよく考えてメモや質問をしながら聞くと、自分の考えがまとまった。」  
「聞くことは大切だな。もっと工夫して聞きたい。」と、子供に思ってもらいたい！

言語活動「1年生におすすめの本の紹介文を書く」を通して、「必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつ」力を身に付けようと考えました。また、身に付けた力を総合的な学習の時間で活用・発揮できるようにしたいと考えました。



1年生の喜ぶ本の種類を知るために、いろんな先生の話を上手に聞きたいな。

単元で身に付けた資質・能力を、総合的な学習の時間にゲストティーチャーの話聞く際にも活用・発揮したいね！



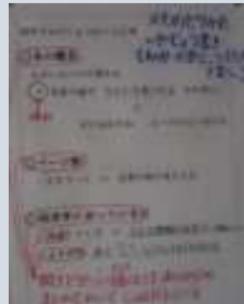
メモを活用しながらゲストティーチャーの伝えたいことを捉え、質問を考えます。

本時（3時／全5時間）

〈児童の実態〉話を聞きながらメモを取ることが難しい。

話を聞いている間の児童の様子を観察し、聞きたいことが聞けているか、効果的にメモがとれているか個々の学習状況を把握します。

導入で、前時までに作成した「聞き取りメモ」を見ながら、全員で「聞きたいこと」や「効果的なメモの取り方」について確認しました。



聞き忘れないためにマークをつけておこう。



学校司書の先生に聞きたいのはこれとこれだな…。



【学校司書の先生の話】

Aさんは、話を聞きながら簡潔にメモをとっているな。後で紹介しよう。



大切なことだけを簡潔書きにしたんだね。



Bさんは、話を全部書こうとして全く顔を上げていないな。指導しよう。

〈児童の実態〉質問したいことが多く、自分の考えを整理できない。

## ■授業を終えて

【指導と評価】の一体化のサイクル

質問タイムの前に「聞き取りメモを振り返る時間」を取ることで、自分が聞きたいこと、確かめたいことを精選することができるようになりました。

大切だと思った「1年生に紹介するためのポイント」に赤丸を付けたり、文章でまとめたりしている。

聞き取りメモに書けていない箇所が、まだ答えを聞いていない質問だね。

自分の考えを確かめる「確認のための質問」もあるね。質問タイムで確認してみよう。



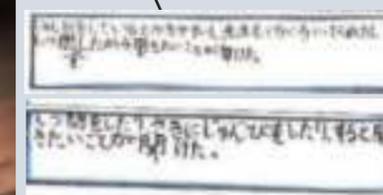
個々の学習状況を把握し、聞きたいことの中心を明確にするよう指導しました。



質問タイムでは、様々な内容の質問が出るように意図的に指名し、「1年生におすすめのポイント」を考えやすくしました。



聞き方としてよかったことを書いている。



本時の学習で、どのような自分の考えをもつことができたか、ワークシートで把握しました。

まとめに書くことが「聞き方」なのか「紹介ポイント」なのか迷った子供がいたな。次時では、聞き方としてよかったことと本を紹介するためのポイントをそれぞれ文章で書いてまとめることができるようにしたい。次の時間のめあてやワークシートを検討しよう。



# 教員とカリキュラム・マネジメント



岡山市立芳田小学校

## ○第1学年 国語科×体育科 単元名「宝運び鬼」

単元の目標

- (1) 一定の区域で逃げる, 追いかけるなど簡単な規則の鬼遊びをすることができる。
- (2) 鬼遊びの動き方の工夫を知り, 攻め方を選ぶとともに考えたことを友達に伝えることができる。
- (3) 鬼遊びに進んで取り組み, 規則を守り誰とでも仲良く運動をしたり, 勝敗を受け入れたり, 場や用具の安全に気を付けたりすることができる。

本時の目標 (6時/全7時間)

お宝をたくさん運ぶために, 攻め方を工夫したり, 考えたことを友達に伝えたりすることができる。

単元構想 (全7時間) と教科等横断的な視点のつながり

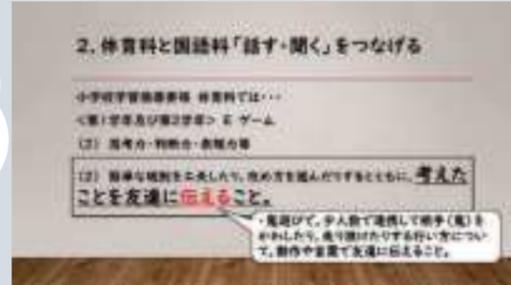
〈単元に入る前の児童の実態〉  
「自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞く」  
「事柄の順序を考えて話すと相手に伝わるように話すことができる」ことを国語科で学習した。

### 1年生 国語科

「はなしたいな ききたいな」  
(9月教材)  
「すきなきょうかはなあに」  
(11月教材)



体育科で自分がどのように鬼をかわして宝を運んだのかを友達に伝える際に, 国語科で勉強したことを生かしてほしい。



子供の実態を踏まえた指導計画の作成

集団対集団で競い合う楽しさに触れる中で, 「動き方の工夫を動作や言葉で友達に伝える」という言語活動を通して, 個人やチームで出た課題を解決する力を身に付けようと考えました。



国語科で学習したことを活用・発揮できるように体育科の授業の中でも作戦カードとともに聞き方カードも掲示し, 毎時間話合いの前に確認をしました。

今までに国語科で身に付けた資質・能力を, 体育科で活用・発揮できることを目指したんだね!



本時 (6時/全7時間)

チームの話合いでは, 作戦ボード上のネームカードを動かしながら説明することで, 友達に自分の動きを順序立てて説明することができるようにしました。

ネームカードを動かしながら話してごらん。



学習状況を把握し, 必要に応じて指導しました。

まず, わたしがこっちへ動くと, ワニもついてくるから, ここにすきまができるよ。だから, Aさんは, その間を通れば…



なるほど。



チームで話したことを全体にも伝え, 動きを全員で共有しました。「まず」「次に」などの言葉を使って順序立てて自分の動きの説明ができました。

【指導と評価】の一体化のサイクル

1年生が自分の動きを言葉で説明するのは難しいと思っていたが, 国語科で学習したことを意識して, 順序立てて話すことで友達に分かりやすく伝えることができた。友達が話を聞いて質問してくれることも, 発表意欲の向上につながっている。今後も他の教科や日常生活で大切に指導していこう。



話している人を見て聞くことができたね。よく聞いているから質問ができるんだね。

## 芳田小学校の成果

児童に対する「岡山市教育に関する総合調査」の低・中・高学年それぞれの目指す子供像についての質問項目において, 研究初年度の令和2年度は, 肯定的回答が75.1%でした。研究2年目の令和3年度は, 肯定的回答が81.3%であり, 6.2ポイント上昇しました。

このことから, 教員が育成したい子供の姿の実現に向けた授業改善に取り組むことで, 子供もそれを意識し, 自分自身の成長を実感したことが分かりました。

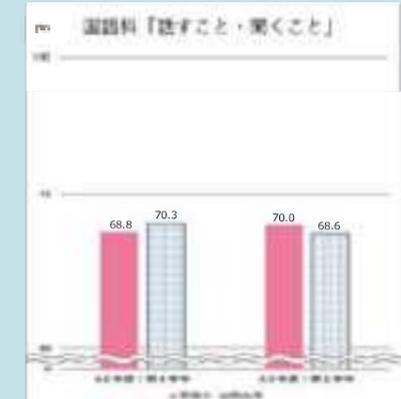
### 目指す子供像の達成についての意識調査



令和2・3年度「岡山市教育に関する総合調査」から

### 国語科「話すこと・聞くこと」領域の正答率

また, 国語科における「話すこと・聞くこと」においては, 令和2年度4年生の国語科の校内正答率は68.8%であり, 岡山市の平均正答率と比べて1.5ポイント低い結果でしたが, 令和3年度5年生では, 校内正答率が70.0%であり, 1.2ポイント上昇しました。岡山市の平均正答率と比べても1.4ポイント高い結果であり, 向上していることが分かりました。



令和2・3年度「岡山市学力アセス」から

## 主な参考文献

- ・ 小学校・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 総則編（平成29年7月）
- ・ 田村学『「深い学び」を実現するカリキュラム・マネジメント』文溪堂（平成31年3月）
- ・ 田村学「カリキュラム・マネジメント入門」東洋館出版社（平成29年3月）
- ・ 田村知子「実践・カリキュラムマネジメント」ぎょうせい（平成23年7月）
- ・ 広島県教育センター「授業研究ハンドブック 学校における授業研究の質的向上を目指して」（平成26年3月）
- ・ 福岡県教育センター「資質・能力を育成するカリキュラム・マネジメントの“15の方策”」（令和元年）
- ・ 大分県教育委員会「学校全体で組織的に進めるカリキュラム・マネジメント改訂版」（令和2年1月）
- ・ 令和2年度カリキュラム・マネジメント指導者養成研修（NITSオンライン研修）
- ・ 島根県教育センター浜田教育センター「カリキュラム・マネジメントハンドブック」（令和2年3月）
- ・ 神奈川県教育委員会「『カリキュラム・マネジメントの一環としての指導と評価』学習評価資料集(小学校, 中学校)」（令和2年3月）
- ・ 鳥取県教育委員会西部教育局「校内授業研究充実のためのポイント」（平成26年3月）

編集 岡山市教育研究研修センター  
研究協力校  
岡山市立芳田小学校  
岡山市立福田中学校

発行日 令和4年3月

発行所 岡山市教育研究研修センター  
岡山市東区向州1番1号  
TEL (086) 944-7255